

大阪の福祉を知るみんなの情報誌

ウェルおおさか

vol.140 2022年10月号

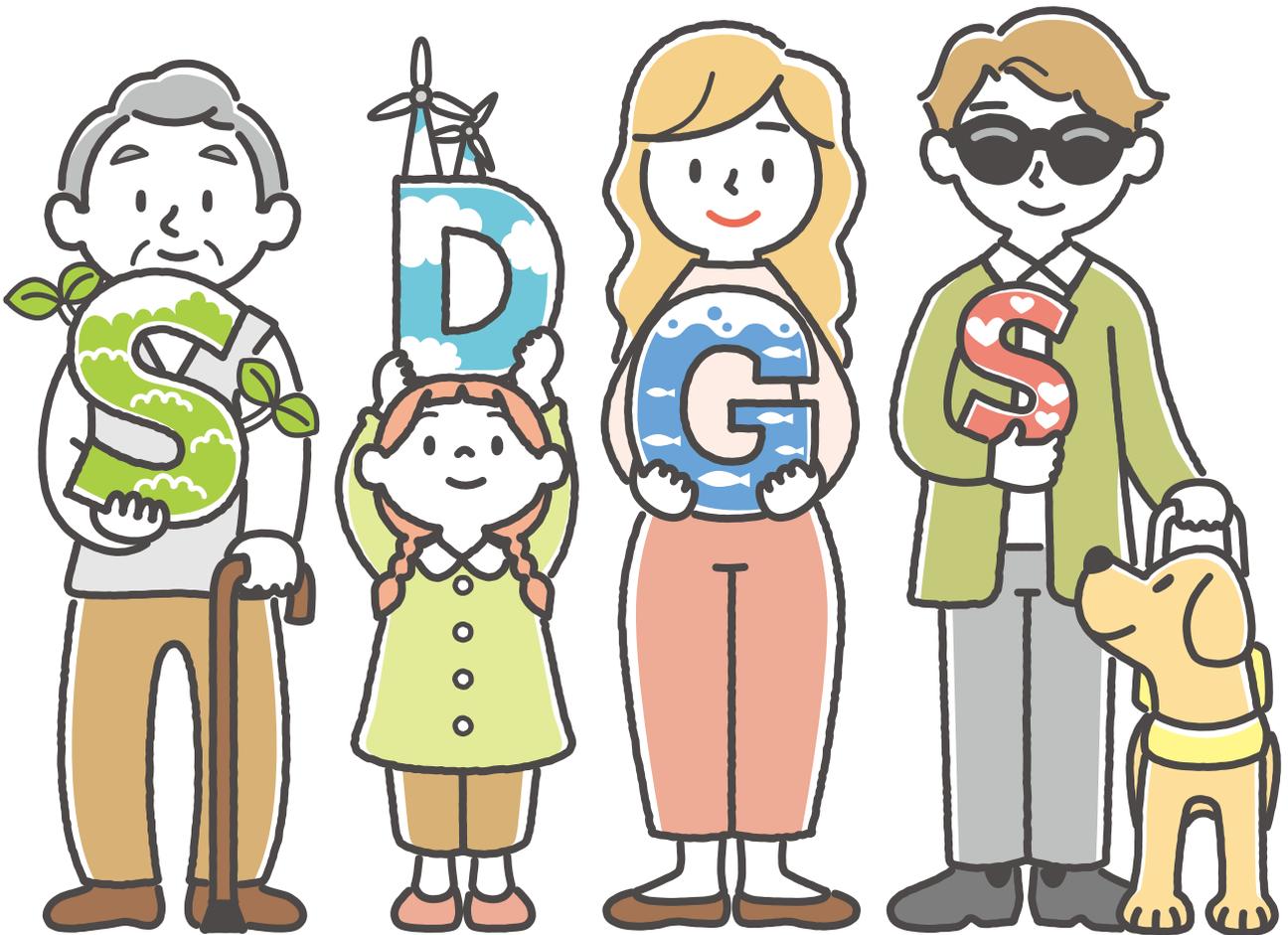
隔月発行(偶数月1日)

特集

持続可能な開発目標SDGs

～オール大阪で達成しよう～

- 図書・資料閲覧室からのお知らせ
- 講座案内



持続可能な開発目標SDGs

～オール大阪で達成しよう～



SDGsという言葉は聞いたことがあるけれど、内容まで知っている人はそれほど多くないのではないのでしょうか。SDGsは、Sustainable Development Goalsの略語で、日本語では「持続可能な開発目標」という意味です。貧困や不平等、気候変動、環境劣化、平和と公正など、グローバルな課題解決をめざし、すべての人々によって持続可能な未来を創るための未来図といえます。

今回は、SDGsに対する取組みの一部を紹介することで、SDGsの意味や私たちにできることを考えていきたいと思います。

SDGsの前身はMDGs

SDGs(Sustainable Development Goals)は、2015年9月の国連サミットにおいて世界193カ国で採択され、2016年から2030年の15年間にわたって世界を変革するための国際目標です。2030年のあるべき未来を描いた17の目標、その目標を達成するための169のターゲットで構成されています。

SDGsといえば、17の目標(ゴール)に注目されがちですが、最も重要なのは、根底にある「誰一人取り残さない」という理念です。

SDGsには、その前身となる目標

MDGs(Millennium Development Goals)というミレニアム開発目標がありました。これは、主に途上国を支援する、2001年から2015年にかけて掲げられた国際目標で、極度の貧困と飢餓の撲滅など、8つの目標を掲げ、達成期限となる2015年までに一定の成果をあげました。

「誰一人取り残さない」ために

しかし、MDGsに15年間の年月をかけて世界が一丸となって取り組んだ結果、多くの命が守られ、人々の生活環境が改善された一方で、MDGsの達成状況を国・地域・性別・年齢・経済状況など

から見てみると、さまざまな格差が生じ、「取り残された人々」の存在が明らかとなりました。

MDGs最終年の2015年に2030年までの開発の指針としてつくられたSDGsは、格差をなくす(=誰ひとり取り残さない)ことを重要な柱とし、MDGsの取組みをさらに強化するとともに、新しい課題も加えられ、経済・環境・社会を網羅した包括的な目標となっています。

わたしたちができること

SDGsの期限2030年まで、残り10年を切りました。目標を達成するには、私たち一人ひとりがSDGsを「じぶんごと」としてとらえ、行動することが大切です。

「電気をこまめに消す」「食品の廃棄を減らす」「不用品はリサイクルする」など、家でできることがたくさんあります。出かけるときは「マイバッグやマイボトルを持参する」「地元で作られたものを地元のお店で買う」などもSDGsにつながります。SDGsについて調べたり、イベントに参加したりするだけでも、SDGsの取組みといえます。

次ページからは、施設やNPOおよび大阪における、持続可能な、「誰一人取り残さない」SDGsの取組みについて紹介します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsの種がどんな花を咲かせるのか楽しみです



社会福祉法人隆生福祉会 ゆめ玉造保育園 園長 おおたに いすず 大谷 五十鈴さん

身近なところで探してみよう

ゆめ玉造保育園では、グローバルな視野で“世界にはばたき、世界のリーダーシップをとれる子ども”を育てることを目標としています。「SDGsの“誰一人取り残さない”を基本に(同法人内の)高齢者施設では、よりよく生きてブランドフィナーレを飾ることを目指しているので、保育園は、よりよく生きるためのスタート期間ととらえて、子どもたちへSDGsの種まきをしています」と園長の大谷五十鈴さん。

職員の勉強会を開くなかで、SDGsをひとつの目標とすることは、難しいように思いましたが、実は、日常の中で当たり前に行っていることだということに気づき、身近なSDGsをみつけるところから、始めることになりました。

カラフルなロゴマークで意識化

園内には、SDGsのいろんな目標が隠れています。電気のスイッチ、水道の栓、ごみ箱…いずれも地球環境を守り、持続可能な社会を意識するために、欠かせません。「これも、SDGsだね」と一つひとつ確認しながら、園児とともにゴールのマークを貼っていきました。



▲職員手作りのSDGsのタペストリー。園児たちの取組みを親御さんに知ってほしい

園児たちはマークを見るたび、SDGsを実践します。「先生、電気、消し忘れてる、SDGsよ」「ママ、そこにごみ捨てちゃだめSDGsだから」と周囲の行動も意識するようになっていきます。園児たちの行動は、保護者にも影響を与えているようです。

また、保護者から運動会するとき、「男の子と女の子の衣装が違うのが気になりました」と教えていただいたことで、ジェンダーフリーにも気づかされました。

ほめられてモチベーションアップ

開園当初から行っている近隣公園の清掃を行う「クリーンキッズ活動」で、園児たちは、清掃を通して、地域への感謝や役立つことの喜びを実感しています。今年も、近くにありながら、幼児が歩いていくには距離があり実現できなかった「大阪城公園を掃除したい」という願いを高校生が叶えてくれました。園児たちは清掃中、近隣の方から褒められ、「また、やりたい」というモチベーションアップにつながっています。これは、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を意識しています。

このほか、「人の話をきく(ゴール4)」「こまったときはだれかにはなす(ゴール17)」「『だって』といわない(ゴール16)」



▲乳児さんの場合は「きれいね、どれが好き?」と会話しながら、一緒に園内探検をする



など、園児たちが宣言したSDGsは大阪府のホームページ「私のSDGs宣言プロジェクト」にも掲載されています。

屋上を園庭にするアイデアが賞賛

同法人は、10年以上前から、福祉の先進国であるフィンランドとの交流を深めています。両国の保育士が互いに現地に赴き、それぞれの考え方や取り組む視点などを学びあっています。コロナ禍でも、オンラインで交流を続けています。

姉妹園のゆめ中央保育園の園庭代わりの屋上を見て、「フィンランドの自然豊かな環境とは違い、ビルが建ち並んだ都会の景色から園児たちはさまざまな想像を膨らませ学ぶことができる」と賞賛していただきました。屋上園庭は、ゴール15「陸の豊かさを守ろう」の意識につながるのではないのでしょうか。

「笑顔はメリーゴーランド」

同園における保育の理念は、子ども、保護者、地域、職員、法人という5つの笑顔。

「SDGsの絵本の中には、『笑顔はメリーゴーランドで、みんなが笑顔になれば、ぐるぐる回って行って、地球が笑顔になる』といったことが書いてあり、世界がさまざまな問題に直面している今だからこそ、みんなが笑顔になるにはどうしたらいいのか、一人ひとりが考えながら、笑顔の輪を広げていくことが大切です。子どもたちに種まきしたSDGsが成長してどんな花を咲かせるのか、楽しみにしています」

友だちになることが、最大の支援



特定非営利活動法人 わかもの国際支援協会 (Wisa)

代表理事 ^{よこやま} ^{たいぞう} 横山 泰三さん

働きたいけど、働けない理由とは

2009年、オンラインゲームで出会った12名の若者からなるひきこもりの自助グループからNPO法人わかもの国際支援協会 (Wisa) が誕生しました。

「メンバーの多くは、人間関係で傷つき、チャレンジもうまくいかず、企業への就職に絶望していました。『このままではいけない』『人とつながりたい』という思いはあるけれど『何をどうすればいいかわからない』という状態でした」と当時をふりかえる代表理事の横山泰三さん。

メンバーだった女性の描いた絵が、企業のチラシや店の看板に使われたり、ウェブデザインを学び、店のホームページを作成したりすることからスタートしました。「好きなことが社会参加につながる」という発見から、企業への就労支援にこだわるのではなく、在宅で新しい働き方を提案していこうと考えました。現在は、その人にあった形でフリーランス・ノマドワークの普及を進め、事業による収益を日本、ラオス、バングラデシュで、若者の支援に活用しています。

自己分析を通して目標や就職を考える

同団体の取組みは、SDGsゴール8のディーセント・ワーク(働きがい)のある人間らしい仕事の創造、生産活動や適切な雇用創出、起業、イノベーションの支援と関連しています。

今、取組みに役立っているのが、国際労働機関 (ILO) が開発したC-BED(コミュニティ主導型起業支援)という対話型ワークショップの実践です。

2020年、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、学校に行けない、飲食店でアルバイトができない、インターンシップ受入中止などで窮地に追い込まれた留学生をはじめ、年齢、性別、国籍が異なる、将来の目標や就職に不安を抱える若者たち約200名が、オンライン上のワークショップに集まりました。

ワークショップでは「お金を払ってでも勉強したいことは?」「どんな人に影響を与えたい?」など、さまざまな質問に答え、それを仲間とシェアしながら、自分の価値観や才能、興味の方向性を発見していきます。

先生も、支援者もいません。参加者をカテゴリー分けすることはありません。その結果、意外な組み合わせで親しくなったり、同じ地域の人とリアルにつながったりすることで、新しい価値や仕事が生まれようとしています。

安全に傷つくことのできる場所

取組みにあたって横山さんが大切にしているのは、支援一被支援の関係ではなく、友達になることです。そのためには、「安全に傷つくことのできる場所」が必要だと話します。

「自己分析のなかで、ひきこもっている人に対して『逃げただけじゃない?』など、率直に意見をぶつけてくる人もいます。そこが安全



な場所なら、言われてめげるのではなく、逆にいい方向へ向かうきっかけになります。友達になって、話したいときに話したいことを話せて、相談したいタイミングでいつでも相談し合える、時には本音でぶつかりあえる、そんな関係を築くことが最も難しいのですが、目指したい最高の対人支援だと考えています」

SDGsの要素をつなげ総合的にとらえたい

横山さんのSDGsに対する考え方について伺いました。

「ワークショップを行っただけでも、ひとり親家庭、ヤングケアラー、ジェンダー、国家間の不平等、動物愛護など、SDGsと関連するさまざまな課題が顕在化してきました。17のゴールは問題が明確になる反面、縦割りになる恐れもあります。ひとつを解決したら、その解決が別の問題を生み出すことを考えると、総合的にみていく必要があるでしょう。SDGsの目標をどうつなげていこうかが、これからの課題です」



▲年齢、性別、国籍の違う若者が自然に出会える場

万博のテーマ「いのち輝く未来社会」はSDGsが達成された社会

大阪市政策企画室企画部
政策調査担当課長 萩尾 厚人さん



展に向けて、大阪市と大阪府が進める『大阪の再生・成長に向けた新戦略』や、大阪市における施策推進の大きな方針である『大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略』に基づく取り組み等との一体的推進を図っています。

SDGsを“自分ごと”にする「私のSDGs宣言プロジェクト」

大阪では、SDGsを具体的な行動につなげるため、大阪府が策定した『大阪SDGs行動憲章』に大阪市も賛同し、自らが行うSDGsの行動を宣言する『私のSDGs宣言プロジェクト』（大阪府HP掲載）を推進し、オール大阪でSDGs達成への機運を高めていきたいと考えます。

「SDGsの推進は、私たちの発展的な未来を切り拓いていくための大切な取り組みです。このことを一人ひとりが認識し、大阪の発展につなげるとともに、大阪・関西万博の開催を通じたSDGsを含む取り組みを世界に発信して、一緒に大阪の都市魅力を高めていきましょう」

大阪が考える2030年の「SDGs未来都市」とは

SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された2016年～2030年までの国際目標です。SDGsを実現するためにまとめられた府・市の共同提案が、2020年7月、内閣府の「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定されました。都道府県と市町村の共同提案が選定されるのは、全国初です。

「SDGs未来都市」については、3年間の「SDGs未来都市計画」を策定し、“2030年のあるべき姿”を次の3つの視点で取り組んでいます。

- ①いのち輝く幸せな暮らし
(Human Well-being)
- ②多様なチャレンジによる成長
(Diverse Innovation)
- ③世界の未来をともにつくる
(Global Co-Creation Hub)

健康寿命の延伸や、未来をつくる人材育成

経済面では、2022年に、雇用創出数をコロナ前の水準に戻し、2022年以降は、年平均2万人以上の創出を進め、すべての人が自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざしています。

社会面では、健康寿命(平均寿命から寝たきりや認知症など介護状態の期間を差し引いた期間)の延伸をめざしています。目標は、2013年の計画策定時(男性:70.46歳、女性:72.49歳)の値から2歳以上のばします。また、小中学校の登校者の割合、5歳未満の入院者割合の改善など、すべての子どもたちに持続可能な社会の創り手として社会の形成に参画するための資質・能力を確実に育成していきます。

環境面においては、温室効果ガス排出量を2030年度に2013年度比で40%

削減し、容器包装のプラスチックの排出量を14%削減するなど、環境負荷ゼロの実現に向けた取り組みを進めています。

海洋プラスチックごみによる新たな汚染をゼロに

「自治体SDGsモデル事業」については、2019年の「G20大阪サミット」で提案・共有した『大阪ブルー・オーシャン・ビジョン』を世界に先駆けて先導するための取り組みとして、3R(Reduce、Reuse、Recycle)+Renewableなどの普及啓発や海岸漂着ごみの実態調査、海ごみの回収など府域全体で幅広く取り組みを進めていきます。「2050年までに海洋プラスチックごみによる新たな汚染をゼロにする」の実現に寄与するものです。

大阪のSDGsを万博から世界へ発信

2025年に開催される大阪・関西万博は、「いのち輝く未来社会」をテーマとしており、まさにSDGsの理念とも合致するものです。

大阪市では、各区の特色ある取り組みについて広く内外への情報発信を行うなど、全庁的に取り組むとともに市民や事業者等も含め、SDGsの推進を図りながら、大阪・関西万博を通じた世界への発信につながっていくように、継続的かつ効果的な取り組みを進めていきます。

こうした大阪が世界に発信できる機会を生かし、SDGsの推進と大阪の発



新たな人材「アシスタントワーカー」

アシスタントワーカーとは？

介護施設等において掃除や食事の片付け、洗濯、物品の補充等、直接介助に携わらない業務を担当する“介護職場の人材”です。

WEBコンサルティングを実施しました

8月8日(月)に、Zoomを活用した専門のアドバイザーによる個別コンサルティングを実施しました。アシスタントワーカーにお願いする具体的な業務内容や、勤務日数や時間帯といった勤務条件など、求人票に記載する内容について、現時点でのイメージをアドバイザーに報告や相談を行いました。また、現在作成している段階の“業務マニュアル”の見本を提示してくださった施設もありました。どのような工夫をすれば、アシスタントワーカーの方により安心してスムーズに勤務をしていただけるのか、各施設、思案しながら前向きに取り組んでいます。



令和4年度 アシスタントワーカー導入施設

- 社会福祉法人 亀望会
特別養護老人ホーム 江之子島コスモス苑
〒550-0006 大阪市西区江之子島1-8-44
☎06-6225-2662 ☎06-6225-2663
- 公益財団法人 淀川勤労者厚生協会
介護老人保健施設 よどの里
〒555-0033 大阪市西淀川区姫島2-13-20
☎06-6473-5152 ☎06-6473-0151
- 社会福祉法人 今川学園
障がい者支援施設 今林の里
〒546-0001 大阪市東住吉区今林3-1-87
☎06-6791-1211 ☎06-6791-5700

「介護のしごと就職フェア」に出展します！

11月11日(金)にあべのハルカス、11月15日(火)に阪急グランドビルにて、「介護のしごと就職フェア」が開催されます。現在アシスタントワーカー導入に取り組んでいる3施設も出展します。

日時／(あべのハルカス会場) 11月11日(金)
(阪急グランドビル会場) 11月15日(火)

イベント内容／

●就職面接会

働きやすい職場づくりを目指す介護施設が集合！

13:00～16:00

(あべのハルカス会場・予約優先制) 20社

(阪急グランドビル会場) 15社

※受付方法が会場によって異なります。詳しくは、各ハローワークやホームページでご確認ください。

●映画上映会【予約制】

介護職の魅力を描いた感動作

(あべのハルカス会場)「ケアニン～あなたでよかった～」

10:00～、12:20～、14:40～

(阪急グランドビル会場)「ケアニン～ここに咲く花～」

10:15～、13:00～

●介護のしごと相談コーナー【随時受付】

まずは聞いてみませんか？介護のはなし

(あべのハルカス会場) 12:00～16:00

(阪急グランドビル会場) 13:00～16:00

介護の資格をお持ちでない方や未経験の方、福祉分野に興味がある方、介護業界で働いてみたい方、ぜひお気軽にお越しください。

〈お申込み・問合せ先〉

(あべのハルカス会場)

ハローワーク大阪東 06-6942-4771(部門コード45#)

ハローワーク大阪西 06-6582-5271(部門コード41#)

ハローワーク阿倍野 06-4399-6007(部門コード44#)

(阪急グランドビル会場)

ハローワーク梅田 06-6344-8609(部門コード41#)

ハローワーク淀川 06-6302-4771(部門コード41#)

設立20周年記念

『ウェルおおさかはーとフェア2022』を 3年ぶりに開催いたします!

★福祉、介護に関する学びや体験が盛りだくさん★

開催日時

令和5年1月28日(土) 午前10時45分～午後4時

開催場所

大阪市社会福祉研修・情報センター
〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

入場無料!

開催内容(予定)

- 持ち上げない介護講座
 - ボッチャ体験コーナー
 - 展示
 - 高齢者に優しい食事講座
 - リサイクルブックフェア
 - 事業所による物販
 - ミニステージ
 - スタンプラリー
- (ボランティアによる発表)



令和元年度
開催時の様子



詳細が決まり次第、研修・情報センターホームページにてお知らせいたします。
ウェルおおさか <https://www.wel-osaka.com>



講座案内

研修につきましては、
次の措置を講じたうえで
実施する予定です。

- 研修中は常に換気を行うこと
 - 参加者間の距離を1メートル以上確保し、お互いの接触は避けること
 - 演者等と聴衆との距離を1メートル以上離し、お互いの接触は行わないこと
 - マスク着用の徹底及び消毒液を常備し、手に触れる箇所の消毒に努めること
 - 後日、状態を確認できるようにするため、参加者の氏名、連絡先を取得すること
 - 受講者全員に、「大阪コロナ追跡システム」への登録要請を徹底すること
- ただし、今後の臨時休館の取扱状況によっては、中止又は延期する場合があります。
ご理解いただきますようお願いいたします。

●福祉従事者向け研修 申込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名	日時	受講対象者	講師	内容	その他
第2回 社会福祉施設職員人権研修【オンデマンド配信】	10月17日(月) 午前10時～ 10月24日(月) 午後5時まで	大阪市内法人及び大阪市内社会福祉施設の職員	株式会社 ソフィアステージ 代表取締役 福西 綾美	ハラスメントについての正しい知識と、仕事や職場生活でハラスメントが起きた際の対処法等を学びます。	締切:10月9日(日) 受講料:無料
リスクマネジメント研修(基礎編)「リスクマネジメントの基本理解と福祉職員としての心構え」	11月2日(水) 午前10時～ 午後4時30分	大阪市内の福祉関係施設・事業所に勤務する職員	兵庫県 対人援助研究所 主宰 稲松 真人	現場で利用者の方に接する機会の多い対人援助職として勤務する職員に求められるリスクマネジメントについて、基本的な考え方と具体的な取組みについて学びます。	定員:36人 締切:10月7日(金) 受講料:3,000円
相談面接の技術研修	・基礎編 11月8日(火) ・応用編 11月22日(火) ・実践編 11月29日(火) いずれも 午前10時～ 午後4時30分	大阪市内の福祉関係施設・事業所に勤務する職員	関西福祉科学大学 教授 橋本 有理子	対人援助職にとって必要な倫理や、主要な機能である面接に関する知識・技術について確認を行いながら、的確な好感をもたれるスキルを演習を交えて実践的に学びます。	定員:1コース36人 締切:10月11日(火) 受講料:1コース 3,000円
障がい福祉関係研修「障がいのある人の自己決定とその支援」	12月15日(木) 午後1時30分～ 4時	大阪市内の福祉関係施設・事業所に勤務する職員	神戸女学院大学 教授 與那嶺 司	障がいのある人の「自己決定」がどのようなものなのか、障がいのある人の意思やニーズに基づいた適切な支援を考えます。	定員:36人 締切:11月24日(木) 受講料:1,500円
障がい福祉関係研修「就労定着支援の実践」	12月20日(火) 午後2時～4時	大阪市内の障がい者就労移行支援・就労継続支援・自立訓練・生活介護事業所の職員	大阪市障がい者就業・生活支援センター 所長 前野 哲哉	障がい者の企業等への就職後の就労定着に係る支援の実践について学びます。	定員:30人 締切:11月30日(水) 受講料:1,500円
リスクマネジメント研修(種別編-高齢者分野)「管理職員が推進する利用者サービス向上のためのリスクマネジメント」～職場での実践について考える～【オンライン研修】※	11月25日(金) 午前10時～ 午後4時30分	大阪市内の主に高齢者分野の福祉関係施設・事業所に勤務する管理職員(リーダー・主任含む)	医療法人明成会 介護老人保健施設 紀伊の里 施設長 山野 雅弘	主に高齢者分野の管理職員に求められるリスクマネジメントの意義と基本を理解するとともに、福祉現場が活性化し、利用者のサービス向上が図れるよう、クレーム対応、事故予防対策、職員育成などの留意しておかなくてはならないポイントなどを学びます。	定員:36人 締切:10月31日(月) 受講料:3,000円
福祉人材確保支援研修「求人力・広報力向上研修」	12月9日(金) 午後1時30分～ 4時30分	大阪市内の福祉関係施設・事業所に勤務する管理職員	大阪城南女子短期大学 現代生活学科 教授 前田 崇博	採用実績をあげている事例を参考に、求人方法、採用の取組みについて学び、勤務する施設・事業所の強みや弱みを分析し、コロナ禍での求職者を惹きつける情報提供や発信の方法について学びます。	定員:30人 締切:11月26日(土) 受講料:無料
子ども関係研修「どもった話し方(吃音)のこどもたちへの正しい理解と啓発」	12月19日(月) 午後2時～5時	大阪市内の福祉関係施設・事業所に勤務する管理職員	関西外国語大学 短期大学部 言語聴覚士・教育学博士 准教授 堅田 利明	吃音のある子どもの様子を見て「今は特に問題がなさそうだ」と判断してしまったり、現在や将来を見ずして果たして「大丈夫」と言えるのでしょうか。吃音のある子どもや周囲の人達への理解とその啓発の意義を考えます。	定員:36人 締切:11月27日(日) 受講料:1,500円

※カメラ付きパソコンやスマートフォンで参加できること。インターネットへの有線接続またはWiFi環境が準備できること。(1日当たり5GBを使用できるネット環境が必要)。

★日程及び締切日は、主催者の都合で変更する場合があります。

●福祉従事者向け研修の申込み方法▶当センターのホームページから申込み、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください

申込・問合せ先

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201

☎06-4392-8272

🌐<https://www.wel-osaka.com>

✉kensyu@shakyo-osaka.jp

図書・資料閲覧室からのお知らせ

図書・DVD新着情報

図書紹介

あのデイサービスには、なぜ人が集まるのか 15法人に学ぶ「超」人気施設のつくり方

糠谷 和弘 編著
PHP研究所 2022年

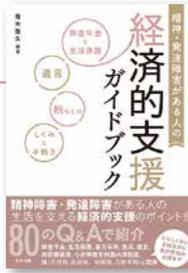
自立訓練、生きがいづくりから、スタッフ教育、科学的介護まで。コロナ禍にもかかわらず高稼働率で“人が集まる”大人気のデイサービス施設を紹介し、その秘訣を解説する。



精神・発達障害がある人の経済的支援ガイドブック 障害年金と生活保護、遺言、税などのしくみと手続き

青木 聖久 編著
中央法規出版 2022年

精神障害・発達障害がある人の生活を支える経済的支援のポイントを80のQ&Aで紹介。障害年金、生活保護、労災、遺言、税と控除などのしくみと手続から家計管理の支援までを、図表も交えて解説。



協力のテクノロジー 関係者の相利をはかるマネジメント

松原 明 ほか 著
学芸出版社 2022年

価値観が多様化した今、違いを大切にしながら協働する方法とは。身近なグループからNPQ、企業、地域、自治体、社会まで、考えや価値観が異なる多様な人々がより良い協力関係を築いていくための具体的な技法を解説。



成年後見実務マニュアル 基礎からわかるQ&A 3訂

日本社会福祉士会 編集
中央法規出版 2022年

成年後見制度と成年後見人等の実務をQ&A形式で解説し、「自己決定の尊重と保護との調和」「金銭管理中心から身上監護中心」という後見実務の考え方を具体的に示す。最新情報を取り入れ、新たなQ&Aを加えた3訂版。



DVD紹介

障害者虐待防止に向けて～ 1 職場での相談と、行政への通報について

シルバーチャンネル 48分 2022年

虐待防止で重要な課題の一つに、「相談と通報」がある。虐待を発見した時に職場内で相談することや、障害者虐待防止法で定められている行政への通報について、職員間で話し合っていたりするためのロールプレイとミニ講義を収録したDVD。



障害者虐待防止に向けて～ 2 身体拘束等の適正化について

シルバーチャンネル 51分 2022年

身体的虐待の一つに、正当な理由のない身体拘束がある。「身体拘束等の適正化」について職員間で話し合っていたりするためのロールプレイとミニ講義を収録したDVD。



地域共生社会と民生委員・児童委員活動 ウィズ・コロナの時代に

日本福祉大学 31分 2020年

民生委員・児童委員の活動において、①自ら窓口に相談に行かない人、行けない人を発見し、②窓口につなげること、③地域にサービスがない場合には、地域で協力して新たなサービスや居場所を作ること。その活動の意義や、ウィズ・コロナの時代の活動を考えるために、活用していただきたいDVD。



だれもが愛しいチャンピオン

シンカ 118分 2020年

チームを解雇されてしまったプロ・バスケットボールのコーチが、ひょんなことから知的障がい者のバスケットボール・チームの指導をするハメになり、徐々にお互いを理解し合い、強い絆で結ばれていくさまをハートウォーミングに綴る。実際に知的障がいを持つ10名をキャストに起用し、本国スペインで大ヒットしたハートフルドラマ。



大阪市社会福祉研修・情報センター2階にある「図書・資料閲覧室」では、社会福祉に関する書籍などを無料で貸し出しています（認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉関係雑誌などが充実しています。）



●図書・約18,700冊 ●DVD・約1,000本 ●雑誌・約25種類

開室時間／月曜日～木曜日・土曜日 9:30～17:00、金曜日 9:30～19:00

貸出期間／2週間（図書・雑誌等は5冊、DVD・ビデオは5本まで）

利用資格／貸出し期間（2週間）内に、来館しての返却が可能な方

※郵送での返却はできません

※初回の登録時には、住所・名前などの証明ができる本人確認書類（免許証・保険証など）をご持参ください

休室日／日曜日・祝日（土曜日は除く）・年末年始

問合せ先／☎06-4392-8233 お電話で図書・DVDの予約も承ります

図書・資料閲覧室の開館時間を延長しています！

8月から毎週金曜日の開館時間を午後7時まで延長しています。ぜひご利用ください！



健康と思う今こそ、受けよう検診!

大阪市民の死亡原因第1位は「がん」です。がんは2人に1人がなる病気、定期的ながん検診を受けましょう。

▼大阪市では次のがん検診を実施しています。

検診種別	検査方法	実施場所	料金	対象者・受診頻度※1
胃がん検診 (50歳以上の方はどちらか選択してください)	胃部エックス線検査	取扱医療機関	500円	当該年度未現在50歳以上の大阪市民 ※ただし、令和5年度未までは40歳代の方も受診可能(年度中1回)
	胃内視鏡検査	取扱医療機関	1,500円	当該年度未現在50歳以上で前年度に受診されていない大阪市民(2年度に1回)
大腸がん検診	免疫便潜血検査	保健福祉センター 取扱医療機関	300円	当該年度未現在40歳以上の大阪市民(年度中1回)
肺がん検診	胸部エックス線検査 (ハイリスク者には喀痰細胞診検査も併せて実施)	保健福祉センター 取扱医療機関	無料 (喀痰細胞診検査400円)	
子宮頸がん検診	子宮頸部細胞診検査	取扱医療機関	400円	当該年度未現在20歳以上で前年度に受診されていない女性市民(2年度に1回)
乳がん検診	超音波検査	取扱医療機関 ※視触診あり	1,000円	当該年度未現在30歳代の女性市民(年度中1回)
	マンモグラフィ検査	保健福祉センター ※視触診なし 取扱医療機関 ※視触診の有無は医療機関により異なる	1,500円	当該年度未現在40歳以上で前年度に受診されていない女性市民(2年度に1回)
前立腺がん検診	PSA検査(採血)	取扱医療機関	1,000円	当該年度未現在50・55・60・65・70歳の男性市民(年度中1回)

〈お問い合わせ〉大阪市健康局健康推進部健康づくり課(がん検診専用電話) ☎06-6208-8250

▼がん検診以外の検査も実施しています。

検診種別	検査方法	実施場所	料金	対象者・受診頻度
B・C型肝炎ウイルス検査	血液検査	取扱医療機関	無料	20歳以上の市民で、過去に肝炎ウイルス検査(大阪府が実施するものに限らない)を受けたことがない方。また大阪市肝炎フォローアップ事業に同意する方。
骨粗しょう症検診	踵骨超音波測定法	保健福祉センター	無料	当該年度未現在18歳以上の大阪市民※1
歯周病検診	問診・口腔内診査	取扱歯科医療機関	500円	40・45・50・55・60・65・70歳の大阪市民※1※2

※1 いずれの検診も、当該年度に加入保険や勤務先等で同等の検診を受診できる方、検診部位の病気等で治療中・経過観察中の方、自覚症状のある方、同一年度中に自治体、加入保険や勤務先等で同等の検診を受診済みの方(自費や診療によるものは含まない。ただし、受診頻度が2年度に1回の検診は前年度受診済みも含む)は対象外です。また、無料受診の該当者等については、大阪市ホームページ等でご確認いただくか、各区保健福祉センターへお問合せください。

※2 令和4年度は昭和27年、32年、37年、42年、47年、52年、57年生まれの大阪市民の方

〈お問い合わせ〉大阪市保健所感染症対策課(肝炎ウイルス検査) ☎06-6647-0656

大阪市健康局健康推進部健康づくり課(骨粗しょう症検診) ☎06-6208-9943
(歯周病検診) ☎06-6208-9963

▼大阪市国民健康保険加入者へは生活習慣病の健診も実施しています。

特定健診	実施場所	料金	対象者
	保健福祉センター等 取扱医療機関	無料 (要受診券)	大阪市国民健康保険に加入されている40歳以上74歳までの方(来年度の3月31日までに40歳になる方を含みます)

〈お問い合わせ〉大阪市福祉局生活福祉部保険年金課 ☎06-6208-9876

今月の自助具/車いす用バックミラー

主な適応疾患・対象者 ▶ 車椅子を使って移動する人

機能・特徴

- 車いすを操作するときに後方確認が楽
- 取り付けの支柱がフレキシブルに曲げられるので、位置調整が容易
- 取り付けが簡単

使い方

- 車いすのひじ掛けにベルトで取り付ける
- 取付用の台座はひじ掛けの形状にフィットするものを作る



資料提供・問合せ ▶ 特定非営利活動法人 自助具の部屋

☎06-4981-8492(月・水・金 10:00~15:00)

NPO自助具の部屋ホームページ▶



健康生活 応援グッズ

移動を快適に「車いす」

超スリム&コンパクト
ティルト&リクライニング車いす



●マイチルト・ミニ3D

スリム&コンパクトで、狭い廊下のカーブもスムーズに曲がれます。3Dで姿勢を整える「立体スリングシート」付。

介護者だけでなく
利用者も操作しやすい多機能モデル



●ウェイビットループラス

独自の曲線フレームで乗り心地良好&コンパクト設計。移乗に便利な多機能タイプの自走介助兼用車いすです。

座った人の背中の中の形にあわせて
フィットする車いす



●円背対応 マルチフィット車いす

誰が座っても背中の中のカーブにフィット。「座りなおし」いらずで、ズリ落ちにくく、長時間でも疲れにくい車いすです。

問合せ

公益社団法人

関西シルバーサービス協会 事務局

〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54

大阪社会福祉指導センター内

☎06-6762-7895 FAX06-6762-7894

☎http://kansil.jp



講座レポート 介護実習講座入門コース

当センターでは、家庭で介護をしておられる方、介護に関心のある方などを対象に、介護の基本を学ぶ「介護実習講座」を開催しています。入門コースとステップアップコース（入門コースを終えた方が対象）があり、9月は入門コースを実施いたしました。

新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、演習を減らすことになりましたが、車いすの体験等の実習や、介護保険制度の説明などのプログラムを通じて、介護への認識・興味を深めることができました。

「介護実習講座」は次年度も実施予定です。講座の内容の詳細については、ぜひ当センターまでお問い合わせください。

講座の様子



チラシが作りたい
パンフレットが作りたい
カタログが作りたい
…でも、どうやって作ったらいいの

それ、アド・エモンに
おまかせください

納得のご予算で

企画から取材・撮影・デザイン・
印刷・納品にいたるまで、あなたのイメージを
トータルでカタチにします。
下記まで気軽にご相談ください。

TOTAL CREATION
AD.EMON
株式会社 アド・エモン

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-23 丸丹ビル306号
TEL:(06)6358-1010 FAX:(06)6358-1011 E-mail:info@ad-emon.com
<http://www.ad-emon.com>

(広告)

大阪市社会福祉研修・情報センター

メンタルヘルス相談

(オンラインでの相談も可能です)

疲れやすい、やる気が出ない、眠れない、
対人関係がうまくいかない…。仕事上の
ストレスなどから生じる悩みの相談窓口で
す。ご本人からだけでなく、同僚や上司の
方からのご相談も受け付けています。



相談・予約電話

秘密厳守 相談無料

ハローサンキュー

06-4392-8639

対象 / 大阪市内在住またはお勤めしている福祉職員

相談方法 / 電話・オンラインまたは来所

相談日時 / 毎週土曜日と第1・3水曜日

いずれも9:30~16:00

※予約に関する問い合わせは、平日でも受け付けています。

相談員 / 臨床心理士

詳しくはウェルおおさかホームページで
<https://wel-osaka.com/mentalhealth>



大阪市内の社会福祉施設を対象としたメンタルヘルス
に関する出張研修を行っています
当センターへご相談ください。(☎06-4392-8201)

CENTER INFORMATION

大阪市社会福祉研修・情報センターのご案内

開館時間 / 9:00～21:00まで(土・日曜日は9:00～17:00まで)

図書・資料閲覧室は9:30～17:00まで(月～土曜日) ※毎週金曜日19:00まで

休館日 / 国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

項目	直通電話番号	お問合せ時間
会議室など利用の問合せ	06-4392-8200	9:00～21:00(土・日曜日は17:00まで) (会議室の申込・お支払いは9:30～17:00)
研修関係の問合せ	06-4392-8201	9:00～17:00
図書・資料閲覧室の問合せ	06-4392-8233	9:00～17:00

貸室ご利用の皆様へ

貸室予約がオンラインで24時間パソコンやスマートフォンから可能となりました。

ホームページの【貸室のご案内】よりログインし、ご予約ください。

初めてご利用される方は、事前にお問合せください。 [ウェルおおさか](#) [検索](#)

利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前(6か月前の同じ日)から、インターネットでの予約、または電話や窓口でご確認のうえ所定の用紙でお申込みください。

電話や窓口での受付は、9:30から17:00まで。

☎06-4392-8200 FAX06-4392-8206

※インターネットでの予約可能な期間は、利用日の6か月前から利用日の1週間前までです。

FAXでの申込み可能な期間は、利用日の6か月前の9:30～利用日の3日前までです。

※当分の間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用条件を変更しています。

詳しくは、ホームページの【貸室のご案内】をご覧ください。



■会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。ご予約は利用日の6か月前からです。

(単位:円)

室区分	利用人員のめやす	時間区分	午前	午後	夜間	全日
			9:30～12:30	13:00～17:00	18:00～21:00	9:30～21:00
4階	会議室	48	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	16	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	24	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	16	5,700	7,600	5,700	17,100
	演習室	8	1,000	1,300	1,000	3,000
5階	大会議室	72	5,800	7,700	5,800	17,400

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために利用人員のめやすに制限をかけています。ご了承ください。

交通 / ご来所には【大阪シティバス】【JR】【地下鉄】をご利用ください

●大阪シティバス

【長橋二丁目】バス停すぐ
52系統(なんば～あべの橋)

●JR大阪環状線・大和路線

【今宮】駅から徒歩約10分

●地下鉄・四つ橋線・御堂筋線

【花園町】駅(①・②出口)から徒歩約15分

【大国町】駅(⑤出口)から徒歩約15分

所在地 / 〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号

設置主体 / 大阪市

運営主体 / (指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

電話 / ☎06-4392-8200(代表)

ファックス / FAX06-4392-8206

URL / https://www.wel-osaka.com

Facebookもチェック



【ウェルおおさか】に広告を掲載しませんか

詳しくはお問合せください…▶大阪市社会福祉研修・情報センター

☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272 kensyu@shakyo-osaka.jp

人権啓発キャッチコピー

【テーマ】人権全般

みんな違う 自分と違って あたりまえ

なかがわ しょうた 中川 翔太さん(令和3年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 小学生(低学年)の部 佳作)